

⑤神奈川高校ラグビー県予選（準決勝）

2020年11月10日

全国高校ラグビー選手権は、毎年12月27日から大阪府東大阪市の花園ラグビー場で開催されます。全国津々浦々から県代表が集まりしのぎを削る戦いです。今年は栄えある100回記念大会となっていて、いつもの年よりも多くの参加校が集う一大イベントとなっています。

昨年度の全国大会は、神奈川県代表である桐蔭学園高校が第90回大会以来の優勝で幕を閉じました。単独優勝は昨年度が初めてで、長い全国大会の歴史の中でも神奈川県優勝校は、慶應高校、相模台工業高校について3校目の全国優勝となったわけです。

11月7日土曜日、本年度の神奈川県の予選が藤沢秋葉台公園（球技場）にて無観客試合で開催されました。試合の結果は以下のとおりです。

第一試合 ○桐蔭学園 vs 慶應義塾● 47 - 7

第二試合 ●関東学院六浦 vs 東海大相模○ 3 - 34

これらの試合は「無観客試合」として開催されましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、テレビ神奈川（TVK）のご厚意によりネット中継を以下のURLからご覧いただけます。

https://www.tvk-yokohama.com/sports_sp/

試合結果は、想いの他大差での試合となりましたが、確実に過去の戦いに比べて地力がついてきているのではないのでしょうか。この試合のみならず準々決勝で敗れたチームも含め伝統校というのが名を連ねています。まさしく神奈川県は激戦区で、日本全国に目を向けても大阪、福岡に次ぐ位置にいる県となっています。

今回の準決勝で戦った4校とも、系列の中学校があり、みなラグビー部があります。毎日の練習ができる環境でラグビーをしていた選手もいますが、高校から新たに加わったメンバーもレギュラーを獲って出場している選手も数多くいます。

この試合の東海大相模のフランカー2名（背番号6, 7番）、米元悠翔（ハルト）君（3年）と森天（ソラ）君（2年）は、麻生RSの出身です。準決勝でも両君は立派にフランカーの役割を果たし、勝利に貢献していました。

今週11/15（日）、昨年度の全国覇者桐蔭学園 vs 東海大相模の決勝戦が三ツ沢競技場で開催されます。今年度はコロナ禍の影響もあり、各校とも思い通りの練習ができていなかったかもしれませんが、この県大会全国予選で試合を重ねる毎に力をつけ、成長するのも高校生です。恐らくこの秋の試合を経験してまた一皮剥けた戦いをしてくれることと思います。

なお、今年度は全国大会が100回記念大会ということもあり、仮に準優勝でも関東地区（1都6県、除く埼玉県）の準優勝校とプレーオフの機会があり、神奈川県2校の全国大会出場の可能性もあります。麻生RSとしても神奈川県の代表を、麻生RSのOBの活躍を祈念してしっかり応援しましょう。